

辰御年貢皆済目録 (部分、明治元年(1868))

特集展示

柳島村大澤家文書と墨田区の村むら

令和6年 10月5日(土)~12月1日(日)



本所絵図 (部分、文久3年(1863))

会場：2階展示室A
 休館日：月曜日・第4火曜日(土・日・祝日は開館。祝日に当たる時は翌日休館)
 時間：午前9時~午後5時 *入館は午後4時半まで
 入館料：個人100円/団体(20名以上)1人80円
 ※中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び介助の方は無料

すみだ郷土文化資料館
 墨田区向島2-3-5
 TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431

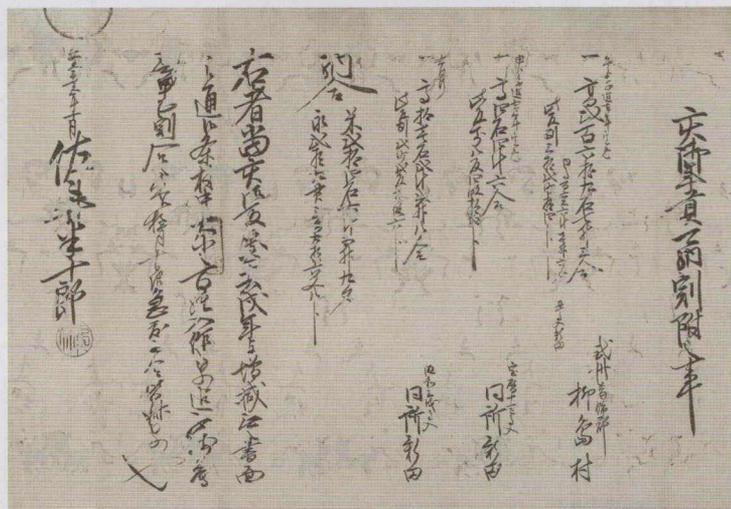


柳島村大澤家文書と墨田区の村むら

柳島村は、現在の墨田区業平町、横川町や太平町、江東区亀戸町を村域とした江戸時代の村のことで、その歴史は古く、遅くとも江戸時代初期には形作られており、正保年間（1644～48）成立とされる「武蔵田園簿」に村高576石余とあるのが、村名の初出です。墨田区は古代以来、隅田川河口のデルタ地帯に発達を遂げた場所ですが、戦国時代には区北部地域（おおむね北十間川より北側）は村落として安定した農業生産を行っており、江戸時代には西葛西領本田と呼ばれるようになります。対して、江戸時代になってから新田開発によって陸地化・耕地化が果たされた区南部地域は西葛西領新田と呼ばれました。柳島村は、西葛西領新田の村のなかでも北端に位置します。

徳川家康の江戸入部以来、江戸の市街は拡大の一途をたどります。市街化は隅田川東部にもおよび、本所開発（万治3年〈1660〉本格化、一時中断後、貞享元年〈1684〉再開）によって柳島村も横十間川以西が区画整理されます。同時期、耕地の一部は町屋化を許され、柳島五か町（柳島町・柳島横川町・柳島裏町・柳島出村町・柳島境町）となりました。また、江戸幕府の拝領屋敷下賜と個別武家による抱屋敷獲得により、多くの「武家地」が存在することになりました。これにより、村高は元禄10年（1697）には200石余と大幅に減少しています。

柳島村の大澤家は、元禄10年の検地帳に「八右衛門」として登場し、村役人を勤めた家柄です。「分道本所絵図 坤」（宝永年間〈1704～11〉）の柳島村の場所に「大沢左近」と記載があり、これは大澤家のことを指すと考えられます。苗字と官途名が、武士もしくは地侍の出自を思わせます。

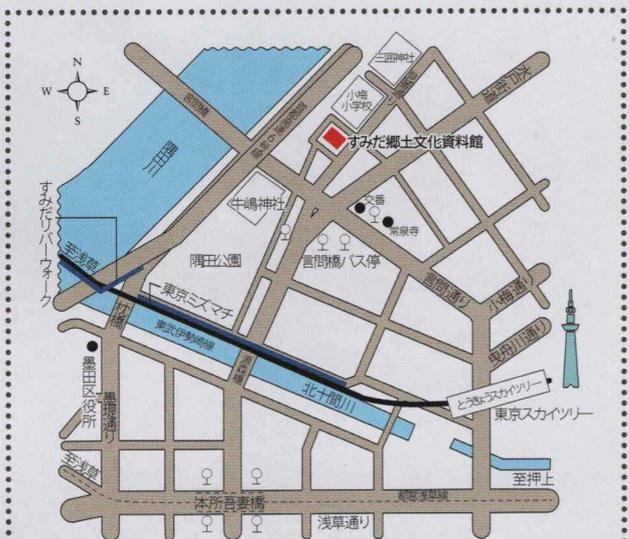


亥御年貢可納割付之事（文久3年〈1863〉）

今回の特集展示では、大澤家に伝わった古文書を中心にして、区内の江戸時代の村の様子を紹介していきます。また、北部の隅田村安藤家に伝わった年貢関係資料などを一部展示致します。



隅田川向島絵図（安政2年〈1855〉）



すみだ郷土文化資料館

〒131-0033 東京都墨田区向島 2-3-5
TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431

- 都営浅草線「本所吾妻橋」駅下車、徒歩8分
- 東武線「とうきょうスカイツリー」駅下車、徒歩7分
- 都営バス「言問橋」停留所下車、徒歩2分
(草39：金町駅～浅草寿町
業10：新橋～とうきょうスカイツリー駅
上26：亀戸駅～上野公園)
- 都営バス「本所吾妻橋」停留所下車、徒歩8分
(都08：錦糸町駅～日暮里駅
門33：豊海水産埠頭～亀戸駅
上23：平井駅～上野松坂屋)